

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:1C
開始時間:11:00~

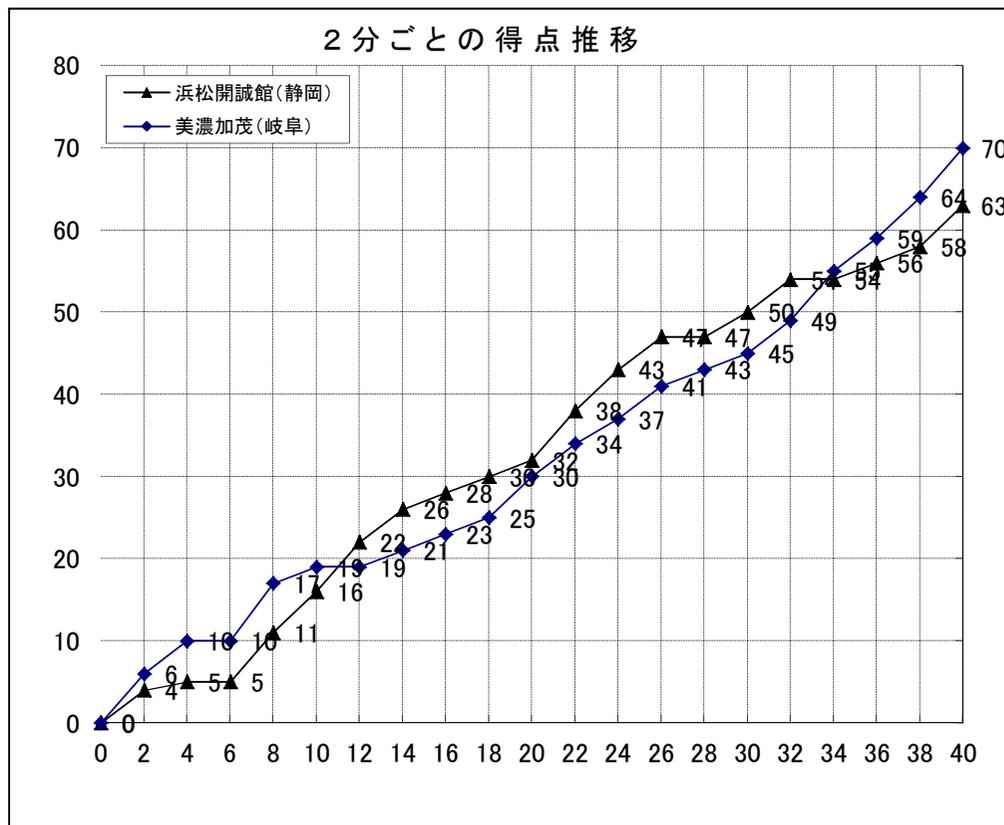
Team A		Team B															
浜松開誠館 (静岡)	63	70															
	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	16	-	19	16	-	11	18	-	15	13	-	25	OT			美濃加茂 (岐阜)
16	-	19															
16	-	11															
18	-	15															
13	-	25															
OT																	

Team A: 浜松開誠館(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	松本 うみ	7	1	2		5								
5	*	伴 拓実	4		2		3								
6	*	川邊 隆景	17		7	3	4								
7		高尾 康大													
8		三室 礼暉													
9	*	田中 勇樹	23	2	7	3	1								
10		菅田 翔己													
11	*	渡邊 伽也	10		5		1								
12		佐原 和樹													
13		菅沼 英一													
14		山本 啓太													
15		野田 玲唯													
16		松尾 智也													
17		河村 匠未													
18		木下 ルイス	2		1		3								
Team/Coach:															
合計			63	3	24	6	17	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 美濃加茂(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		都築 健人	2		1		1								
5	*	後藤 優仁	22	1	4	11	1								
6	*	早川 和輝	4		2		1								
7	*	天満 公栄	11	1	4		4								
8	*	范 浩靖	27		12	3	3								
9		和田 将治													
10		与那覇 遥	0				1								
11		宮地 大河													
12		林 直寿													
13		金澤 勇意													
14		高谷 英寿													
15	*	水谷 拓真	2			2	2								
16		仲嶺 凌汰													
17		石川 諒													
18		保木 楓	2		1		1								
Team/Coach:															
合計			70	2	24	16	14	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q、浜松開誠館④⑤⑥⑨⑪、美濃加茂⑤⑥⑦⑧⑮で試合が始まる。両チームともハーフマンツーマンD Fを行う。ゲームの序盤、美濃加茂は高さを生かし、⑤や⑧のインサイドで得点を重ねリードする。対する浜松開誠館はドライブを中心に攻め、1Q残り2分を過ぎて、⑥のオフェンスリバウンドからゴール下を連続して決め、1Q 16-19で美濃加茂リードで終了。

2Q、浜松開誠館は⑨のミドルシュートが連続して決まり、一気にリードする。その後もゾーンプレスから美濃加茂のミスを誘うなどして最大7点の点差が開く。2Q残り2分、美濃加茂⑦の速攻と3Pが決まり、2Q 32-30で浜松開誠館のリードで終了。

3Q、浜松開誠館は⑨を中心に得点を重ねる。美濃加茂は⑥と⑧のインサイドを中心に得点し、3Q 50-45で浜松開誠館がリードを広げ終了。

4Q、美濃加茂は⑤のドライブ、⑧のインサイドで次々と得点を重ねる。浜松開誠館は⑨がフェイスガードをされてから得点が止まり始め、美濃加茂のリズムを崩すことができず、70-63で美濃加茂が初戦を勝ち抜いた。

主審 本多 芳隆

副審 大豆村 斉

記入者 宮原 利亨

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:1D
開始時間:11:00~

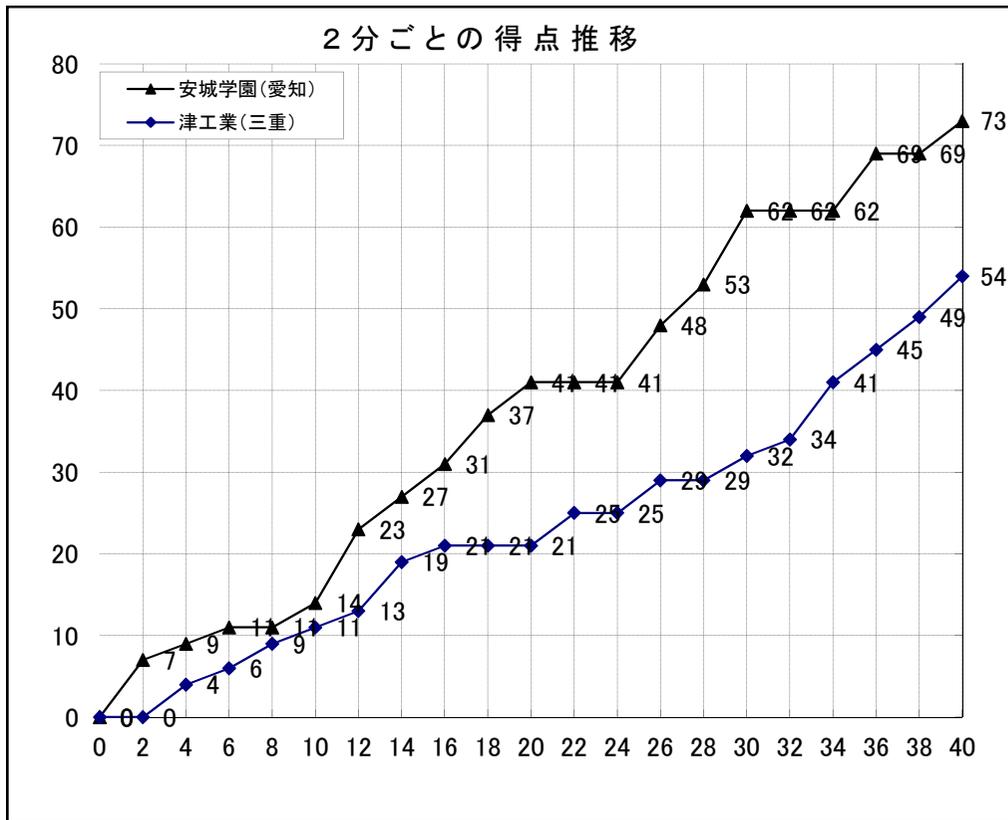
Team A		Team B
安城学園 (愛知)	73	54 県立津 (三重)
	14 - 11 27 - 10 21 - 11 11 - 22 OT	

Team A: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人	2		1		1								
5*		菅野 正和	9		4	1	1								
6*		温井 武	13	1	3	4									
7*		杉浦 史紘													
8*		黒田 亘	20	4	4		1								
9		藤田 稜	12	2	3										
10		伊藤 真輝	2		1										
11*		新本 空良	6		3										
12		角谷 亜門	0				3								
13		黒川 周人	2		1										
14		山中 亮佑	0				1								
15		牛丸 和樹	2		1		1								
16		杉本 大和	2		1										
17		渡辺 佳													
18		近藤 翔太	3	1											
Team/Coach:															
合計			73	8	22	5	8	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 津工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4*		小宮 陸	17	3	4		1								
5		土田 圭佑	2		1		2								
6*		日置 冬弥	2		1										
7*		西脇 力也	20	2	7		1								
8		刀根 充規													
9*		松本 治幸	7		3	1	3								
10		村川 大樹													
11*		中嶋 純希	6	2											
12		志保 悠太													
13		天久保 翔太													
14		伊藤 成													
15		石田 陸人													
16		中出 倅誓	0				1								
17		辻 大海													
18		篠塚 悠貴													
Team/Coach:															
合計			54	7	16	1	8	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

スターティングメンバーは、安城学園⑤⑥⑦⑧⑪、津工業④⑥⑦⑨⑪。安城学園は、ハーフコートマンツーマン、津工業はハーフコートの2-3ゾーン。先制点は、安城学園⑥が3Pを沈める。津工業も④の3Pなどで得点を重ね14-11安城学園リードで1Q終了。

2Qに入り、安城学園は⑧の3Pや④のジャンパーなどにより得点を伸ばす。点差が離れ始めるが、津工業は④・⑪の連続3Pにより差を縮める。安城学園は、ミドルレンジのシュートが高確率で入り出し、津工業は6分間得点出来ず、41-21安城学園リードで2Q終了。

後半もスターティングメンバーは変わらずスタート。開始4分間は、両チーム共に得点は伸び悩むが、安城学園は⑨の連続得点や3Pにより、得点が伸び始める。津工業は安城学園の堅い守りからなかなか得点できず、62-32の安城学園リードで3Q終了。

津工業は、オールコートからプレッシャーを強め、最後まで諦めずに頑張るが、安城学園はベンチメンバーと変えながら試合を優位に進めて行き試合終了。安城学園が2回戦に駒を進めた。

主審	大坂 裕寿	副審	北川 尚寛	記者	芝野 博考
----	-------	----	-------	----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:2C
開始時間:12:40~

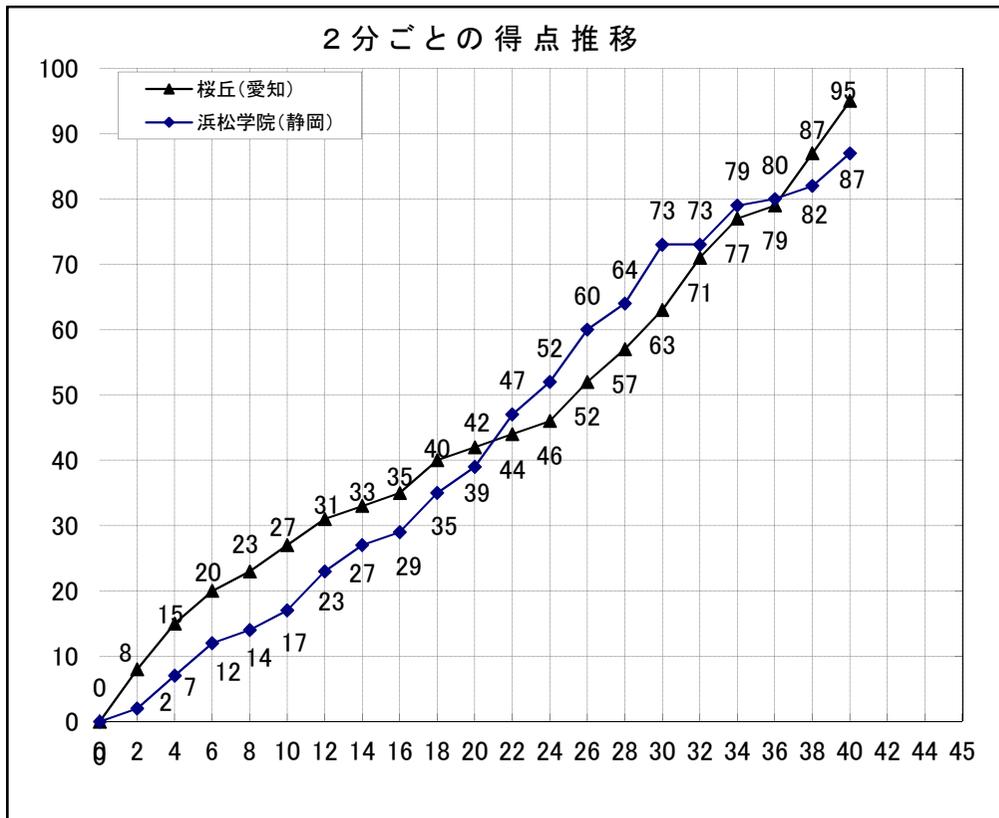
Team A		Team B															
桜丘 (愛知)	95	87 浜松学院 (静岡)															
	<table border="1"> <tr><td>27</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>34</td></tr> <tr><td>32</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	27	-	17	15	-	22	21	-	34	32	-	14	OT			
27	-	17															
15	-	22															
21	-	34															
32	-	14															
OT																	

Team A: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	佐々木 駿	10		5		4								
5		彦坂 海登													
6	*	今田 涼斗	3	1			1								
7	*	大井 崇幹	10	2	2		5								
8		中泉 智貴													
9	*	富永 啓生	38	6	8	4	2								
10	*	DIAGNE COULOU	30		13	4	3								
11		原田 昇明													
12		小山 時郎													
13		渡辺 薫													
14		高木 遼太郎													
15		小嶋 悠斗	8		4		4								
16		藤田 龍之介													
17		原田 宗輝													
18		大竹 敬也													
Team/Coach:															
合計			99	9	32	8	19	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 浜松学院(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	岡村 泰知	10	2		4	3								
5	*	ダシルバ ヒサシ	28	1	9	7	1								
6		新村 健心	2			2	2								
7	*	谷口 夏樹	6		3										
8	*	石川 晴道	23	4	3	5	3								
9		亀山 憧弥	0				1								
10	*	小池 玲史	0				1								
11		前嶋 健汰													
12		足立 悠太													
13		葉山 大誠	18	1	7	1	4								
14		河合 優作													
15		長坂 元暉													
16		赤土 大介													
17		伊藤 凧都													
18		鈴木 涼輝													
Team/Coach:															
合計			87	8	22	19	15	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

スターティングメンバー、桜丘④⑥⑦⑨⑩、浜松学院④⑤⑦⑧⑩で試合開始。序盤から桜丘が⑩の高さを生かし、4連続ゴールで主導権を握る。対する浜松学院は、⑤のバスケットカウント、3Pなどでゲームを落ち着かせると、互角のやり合いが続き、27-17で1Q終了。桜丘は⑩を中心とし、浜松学院は⑤が半分以上の得点を占める。

2Qに入ると、浜松学院が⑩への寄りガードへの厳しいマークで、いいディフェンスを見せる。オフェンスでも⑤のピック&ロール、⑧のドライブを中心に得点を重ね点差を縮め、42-39と桜丘で前半終了。

3Q、桜丘はディフェンスを2-3のゾーンディフェンスに変える。しかし、浜松学院は⑤と⑧でコントロールし、⑬が合わせリバウンドで得点を取る。桜丘は⑦のゲームメイクと3Pで反撃する。しかし、浜松学院の⑤、⑧を止められず、63-73で浜松学院が10点のリードを奪う。

4Q桜丘は、⑨の4Pプレイなどの連続ゴールで5点差となり、浜松学院タイムアウト。浜松学院は、⑧が連続3Pで踏ん張るも、桜丘は、⑨と⑩が得点し振り切り、95-87で桜丘の勝利。すこぐレベルの高い、オフェンス力で手に汗握る好ゲームだった。

主審 大江 裕之 副審 木下 晋一 記入者 西村 一真

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:2D
開始時間:12:40~

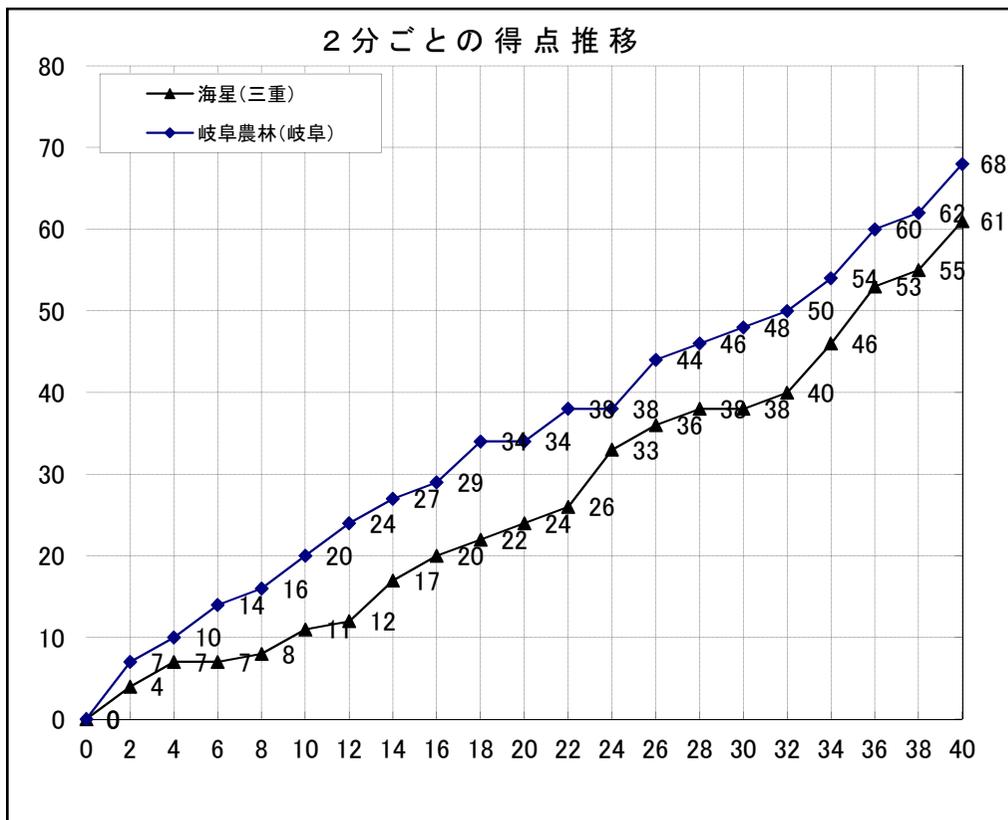
Team A		Team B															
海星 (三重)	61	68 岐阜農林 (岐阜)															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11	-	20	13	-	14	16	-	14	21	-	20		OT		
11	-	20															
13	-	14															
16	-	14															
21	-	20															
	OT																

Team A: 海星(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	清水 大輝	21	3	5	2	2								
5	*	三鬼 啓人	5		2	1	1								
6		福徳 孝太													
7	*	山出 俊介	6		3		1								
8		山口 陸													
9		鈴木 胡太郎													
10	*	堂本 玄	2		1										
11		菅野 郁己	5		2	1									
12		高柳 勝也													
13		岡 勇輝	11	3	1		1								
14		青井 海斗													
15		奥村 太紀													
16	*	高木 義彦	11	3	1										
17		川添 颯太													
18		伊藤 暖人													
Team/Coach:															
合計			61	9	15	4	5	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 岐阜農林(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	野原 和憲	11		4	3	2								
5		中島 貴博	0				3								
6	*	吉村 太希	10	2	2		1								
7	*	松岡 魁人	12	2	3		1								
8		津田 翔英	2		1										
9		横田 順哉													
10		松山 真也	3	1			1								
11		小倉 拓人													
12		中村 亮太													
13		長尾 光太郎													
14		高橋 柊弥													
15		小林 空誠													
16	*	栗田 昂也	8		4		1								
17	*	中島 大樹	13		6	1	4								
18		野尻 陽斗	9	1	3										
Team/Coach:															
合計			68	6	23	4	13	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

海星 4, 5, 7, 10, 16 岐阜農林 4, 6, 7, 16, 17 でスタート。海星はハーフ2-3ゾーン、岐阜農林はハーフコートマンツーマン。岐阜農林4番のフリースローで先制。6番のスリーが続く。対する海星は4番を起点に7番のゴール下合わせ、16番のスリーでついていく。海星のゾーンに対して岐阜農林は早いパス回しでズレを作りシュートを狙う。海星はディフェンスリバウンドをとりきれず岐阜農林有利に進む。2ヶタ差となったが終了間際に海星の13番のスリーで1ヶタ得点差にし、第1Qは終了。

第2Qに入り、岐阜農林はパス回しからスリーや速攻で引き離しにかかる。しかし、海星も4番の個人技や13番のスリーで離されない。10点差を境に一進一退の攻防が続き、第2Qは終了。

第3Q 互いにディフェンスは変わらずスタート。岐阜農林はパス回しからフリーでシュートを打つがリングに嫌われる。逆に海星は4番の2本のスリー等で5分で5点差まで詰める。岐阜農林はオフェンスリバウンドを粘り強くひろい続け、確率があがらない中でも得点を重ね逆転を許さない。終盤に岐阜農林は連続3Pを決め、差を広げなおし終了。

第4Q 一進一退の中、海星は残り5分で13, 16番の連続3Pで再び5点差に。岐阜農林オフェンスリバウンドをとり、攻撃回数を増やし粘る。最後は海星のシュートも落ち始め、岐阜農林が苦しい展開の中勝利を手にした。岐阜農林のオフェンスリバウンドのねばりが印象深い試合となった。

主審 田中 誠治

副審 浅野 慶太郎

記入者 中島 英之

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:3C
開始時間:14:20~

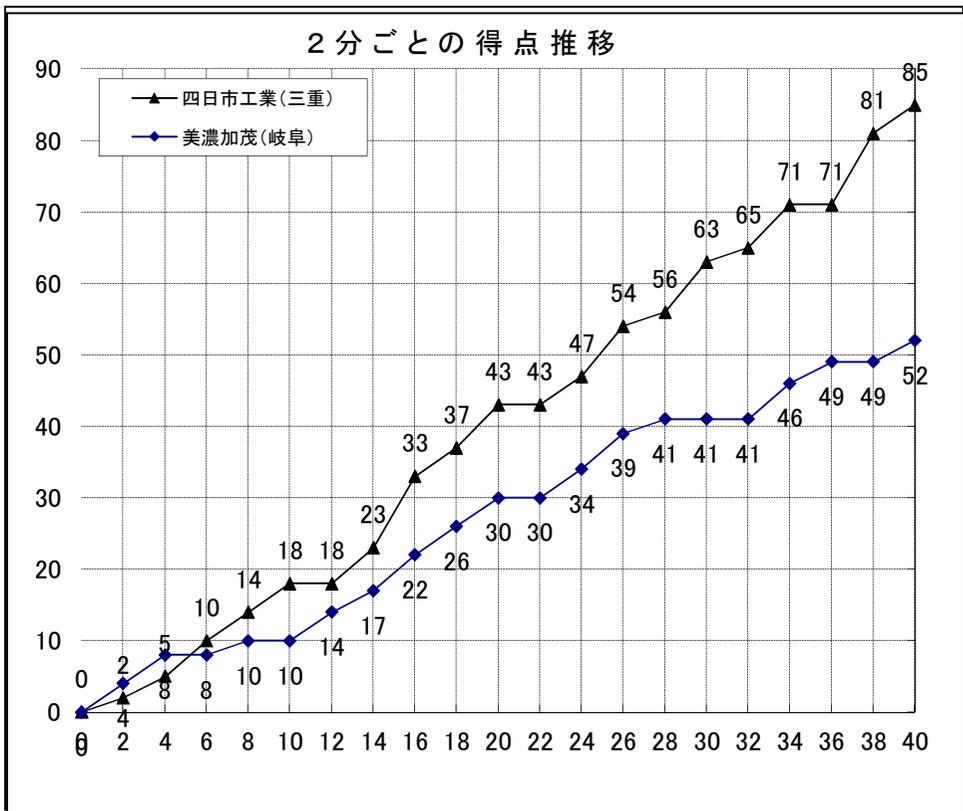
Team A		Team B
四日市工業 (三重)	85	美濃加茂 (岐阜)
18	-	10
25	-	20
20	-	11
22	-	11
	OT	

Team A: 四日市工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊藤 佑一郎	4		1	2	1								
5	*	山原 誠也	5	1	1		1								
6		前田 凌玖	9	3											
7	*	野田 憲吾	29		13	3	3								
8		小村 和馬													
9		倉木 将太	5		2	1									
10		森 健志郎													
11	*	西田 航	4		2		3								
12		中村 憲真													
13	*	水谷 祐葵	23	3	7		1								
14		三谷 啓吾	4		2		1								
15		吉門 広晶	0				3								
16		小村 将貴													
17		浜地 航汰	2		1										
18		天野 夏暉													
Team/Coach:															
合計			85	7	29	6	13	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 美濃加茂(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		都築 健人	0				1								
5	*	後藤 優仁	25	1	10	2	2								
6	*	早川 和輝	8		4										
7	*	天満 公栄	2		1		3								
8	*	范 浩靖	13		5	3	4								
9		和田 将治													
10		与那覇 遥													
11		宮地 大河													
12		林 直寿													
13		金澤 勇意	2		1										
14		高谷 英寿													
15		水谷 拓真													
16		仲嶺 凌汰	2		1		1								
17		石川 諒													
18	*	保木 楓	0				1								
Team/Coach:															
合計			52	1	22	5	12	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q四日市工業④⑤⑦⑪⑬、美濃加茂⑤⑥⑦⑧⑩で試合が始まる。四日市工業は⑦⑬のドライブを中心に攻め、得点を重ねていく。美濃加茂は⑧のインサイドを中心に攻めるも、四日市工業の固い守りから得点が伸びず、1Q18-10で四日市工業がリードし終了。

2Q早々美濃加茂のバスケットから連続して速攻が決まり、流れが美濃加茂に傾き始めたが、四日市工業は⑥の3Pでやり直す。残り5分四日市工業⑦のリバウンドからのゴール下が連続して決まり、⑥が再び3Pを決めたところで美濃加茂はタイムアウトをとる。その後は互いにミドルシュートを決め、2Q43-30で四日市工業がリードの幅を広げる。

3Q開始2分を過ぎて、四日市工業⑬のミドルシュートが次々と決まり始める。美濃加茂は⑧のインサイドの攻めでなんとか得点を重ねるものの、残り5分を過ぎて四日市工業⑬の3Pを含む外角シュートが連続して決まり、流れが四日市工業に傾き、四日市工業がリードを広げ3Q終了。

4Q四日市工業は終始固い守り続ける。最後まで集中を切らさなかった四日市工業が33点差をつけて勝った。

主審 足立 尚隆

副審 三宅 浩平

記入者 宮原 利亨

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:3D
開始時間:14:20~

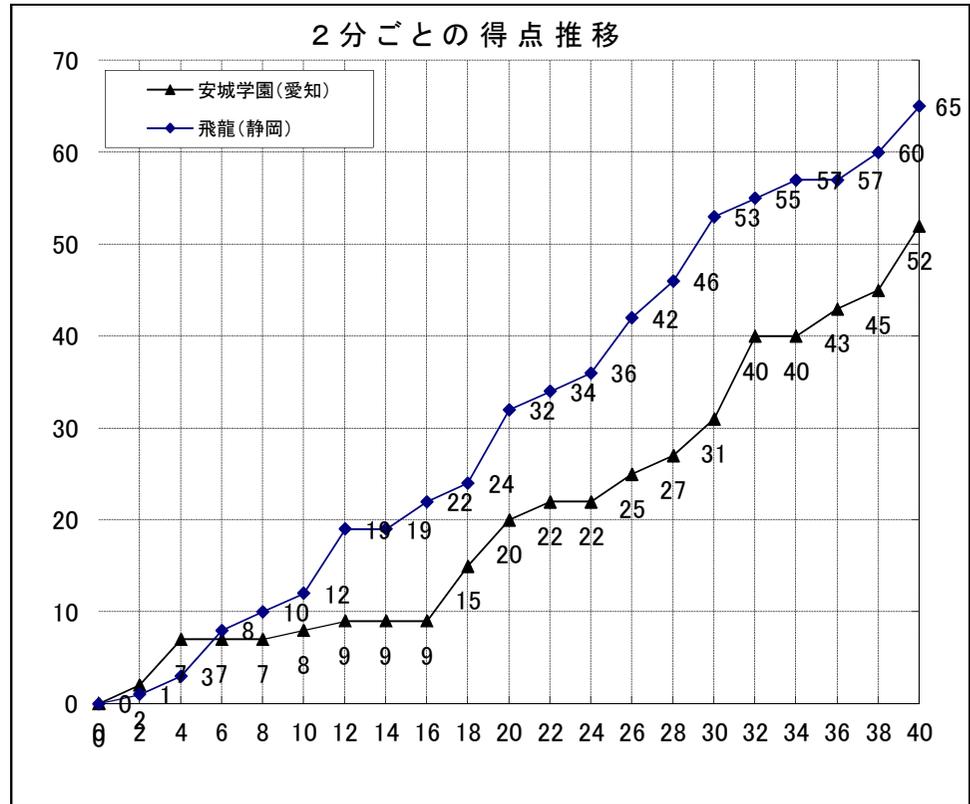
Team A		Team B
安城学園 (愛知)	52	飛龍 (静岡)
	8 - 12 12 - 20 11 - 21 21 - 12 OT	

Team A: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人	2		1		2								
5*		菅野 正和	10		4	2	2								
6*		温井 武	5		2	1	3								
7*		杉浦 史紘	3		1	1	2								
8*		黒田 亘	28	3	8	3	3								
9		藤田 稜	2		1		3								
10		伊藤 真輝													
11*		新本 空良													
12		角谷 亜門	2			2									
13		黒川 周人													
14		山中 亮佑													
15		牛丸 和樹													
16		杉本 大和													
17		渡辺 佳													
18		近藤 翔太													
Team/Coach:															
合計			52	3	17	9	15	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4*		伊東 潤司	6	1	1	1	4								
5*		松下 裕汰	10	2	1	2	2								
6*		金井 星也	0				1								
7		西尾 昂也													
8		長谷川 楓弥													
9*		関屋 心	10		5		2								
10		曾我 真優													
11		杉本 諒	0				2								
12		山村 祥太郎	14	4	1										
13*		杉山 裕介	23		10	3	4								
14		奥村 大翔	2		1										
15		張 述愷													
16		石川 歩													
17		牛島 宗揮													
18		原田 未央													
Team/Coach:															
合計			65	7	19	6	15	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

スターティングメンバーは、安城学園⑤⑥⑦⑧⑪、飛龍④⑤⑥⑨⑬。ディフェンスは、お互いハーフコートマンツーマン。先制は、飛龍⑬のフリースローによって得点するが、安城学園も⑦のレイアップを決め返す。両チーム共に激しいディフェンスを展開し、得点が伸びず攻防を繰り返す、1Q終了8-12で飛龍がリード。

2Qに入り飛龍⑬のバスケットカウントにより勢いづき連続得点をする。安城学園は5分間得点がなく、2回目のタイムアウトを取り、⑬のジャンパーなどで落ち着きを取り戻すが、飛龍も⑤がブザービーターで3Pを決め、2Q終了20-32で飛龍リードで折り返す。

後半もスターティングメンバーは変わらずスタートする。飛龍はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ流れを作り、1対1を中心として得点を重ねて行く。安城学園は⑧起点として攻めているがなかなか得点できずタイムアウトを取り、2-2-1のゾーンプレス2-3のゾーンで対抗するが、飛龍は譲らず3Q終了31-53で飛龍リード。

4Qに入り安城学園はオールコートでプレッシャーをかけていくが、飛龍は落ち着いてゲーム運び試合終了。52-65で飛龍の勝利し、準決勝進出となった。

主審	坂井 元直	副審	境 圭介	記入者	芝野 博考
----	-------	----	------	-----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日: 2017年2月11日(土)
 会場: HOS名張アリーナ
 コート: 4C
 開始時間: 16:00~

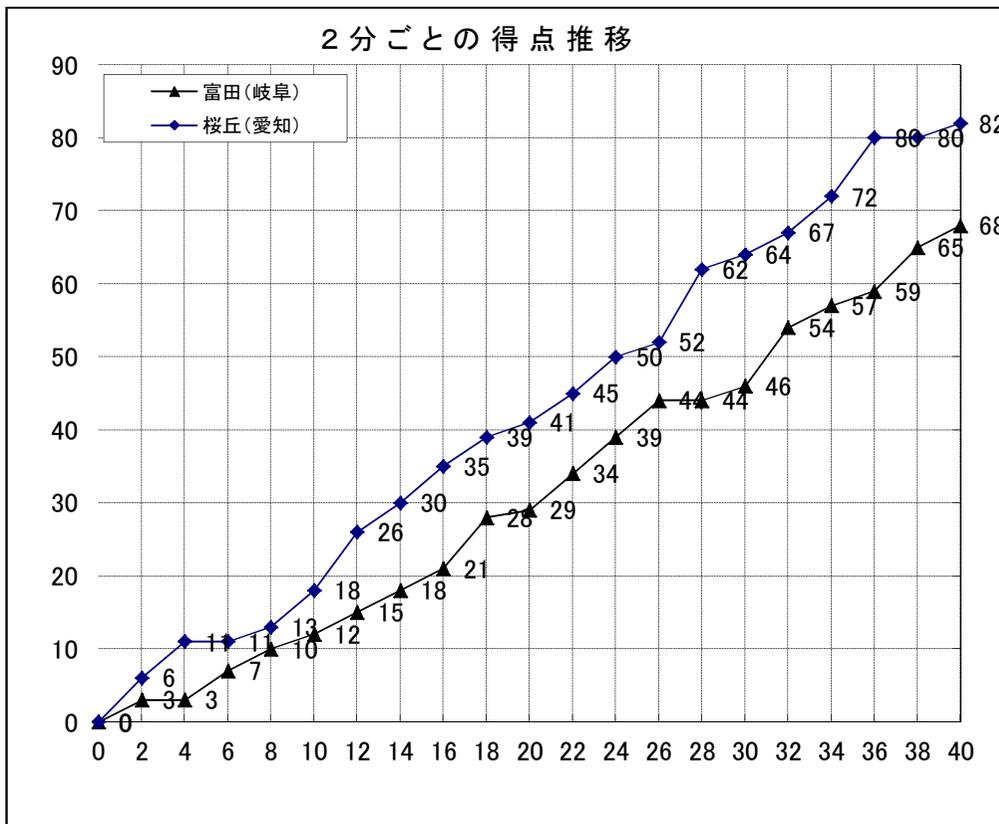
Team A		Team B
富田 (岐阜)	68	桜丘 (愛知) 82
	12 - 18 17 - 23 17 - 23 22 - 18 OT	

Team A: 富田(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	本田 覚士	19	1	7	2	1								
5	*	小平 飛翔	4	1		1	3								
6		島津 龍義													
7	*	市田 蓮	7	1	1	2									
8	*	中山 航之介	18	1	7	1	4								
9		坪井 稜斗	15	5			1								
10		垣田 晃汰													
11		香村 嘉人													
12		松本 翔													
13		中澤 聡志													
14		櫻井 和也													
15		三浦 海斗													
16	*	浦野 康平	5		2	1	2								
17		高橋 亮威													
18		田中 譲一朗													
Team/Coach:															
合計			68	9	17	7	11	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿	2		1		1								
5		彦坂 海登	6		2	2	1								
6	*	今田 涼斗	10	2	2		1								
7	*	大井 崇幹	2		1		2								
8		中泉 智貴	2		1		1								
9	*	富永 啓生	18	6											
10	*	DIAGNE COULOU	24		10	4	1								
11		原田 昇明	0				1								
12	*	小山 時郎	0				1								
13		渡辺 薫													
14		高木 遼太郎													
15		小嶋 悠斗	4		2		4								
16		藤田 龍之介													
17		原田 宗輝	9	3											
18		大竹 敬也	5	1	1		1								
Team/Coach:															
合計			82	12	20	6	14	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

スターティングメンバーは、富田④⑤⑦⑧⑩、桜丘⑥⑦⑨⑩⑮でティップオフ。
 富田は⑤の3P、桜丘は⑩のインサイドの得点から入る。しかし、両チームともゾーンアタックができず点が伸びない。だが残り2分、桜丘が見事な連続得点で12-18とリードで1Q終了。
 2Q流れは変わらず、桜丘はハイポストを上手く使い、ゾーンアタックに成功しリードを広げる。富田も⑧の3Pなどで点を返すが、桜丘も⑨の3P、⑩のゴール下でリードを保ち、29-41と桜丘12点リードで前半終了。
 3Q富田は、④の力強いシュートやゾーンプレスからの速攻で点差を縮める。しかし、桜丘は⑥、⑨のアウトサイドシュートが次々決まり、また点差が開く。その後、富田はことごとくシュートが外れ、46-64で4Qへ。
 4Q桜丘は、⑨⑩などを休ませ、ベンチメンバー主体の中、富田は⑨の連続3Pなどで11点差まで詰めるも、桜丘は⑮の連続3Pなどで再び点差をあける。富田も最後まで諦めず、オールコートでディフェンスを頑張り、3Pを打ち続けるも点差は縮まらず、68-82で桜丘の快勝。

主審	片山 誠太	副審	木下 大貴	記入者	西村 一真
----	-------	----	-------	-----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日:2017年2月11日(土)
会場:HOS名張アリーナ
コート:4D
開始時間:16:00~

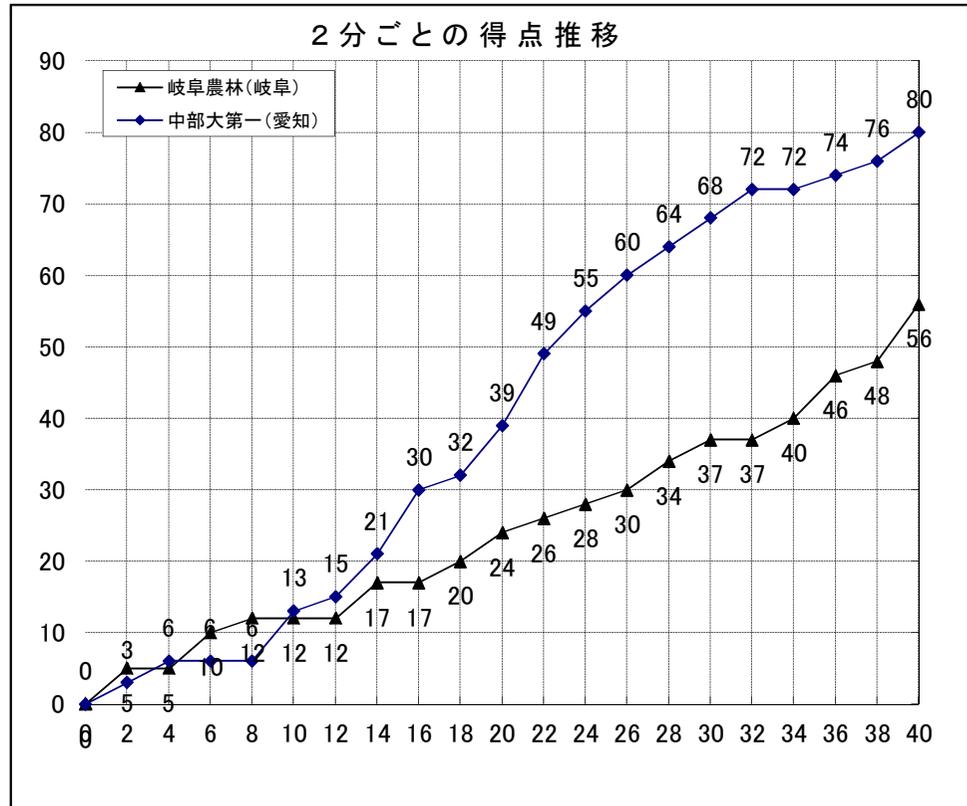
Team A		Team B
岐阜農林 (岐阜)	56	80 中部大第一 (愛知)
	12 - 13 12 - 26 13 - 29 19 - 12 OT	

Team A: 岐阜農林(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	野原 和憲	10		5		4								
5		中島 貴博													
6	*	吉村 太希	9	3			1								
7	*	松岡 魁人	8		4		4								
8		津田 翔英													
9		横田 順哉													
10		松山 真也	3	1			2								
11		小倉 拓人													
12		中村 亮太													
13		長尾 光大郎													
14		高橋 柗弥													
15		小林 空誠													
16	*	栗田 昂也	7	1	2		5								
17	*	中島 大樹	15		5	5	4								
18		野尻 陽斗	4	1		1									
Team/Coach:															
合計			56	6	16	6	20	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 中部大第一(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	星野 京介	8	2		2	1								
5	*	坂本 聖芽	11		4	3									
6		張本 正登	13		6	1									
7		田中 成紀	0				1								
8	*	Boubacar N' dia ye	11		5	1	2								
9		根建 拓己													
10		植木 将太郎	6		3		1								
11		石川 稜祐	0				1								
12		大富 健清	0				1								
13		矢澤 樹	7	1	2		1								
14	*	中村 拓人	14		4	6	2								
15	*	小澤 幸平	6		3		2								
16		青木 遥平													
17		佐藤 優光	4		2										
18		三嶋 宏斗	0				1								
Team/Coach:															
合計			80	3	29	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0



【戦評】

岐阜農林④⑥⑦⑩⑪、中部大第一④⑤⑧⑭⑮でスタート。互いにハーフコートマンツーマン。中部大第一のファーストオフェンスで④の3Pで先制。しかし、すかさず岐阜農林④がジャンパーで決め返す。中部大第一は出だし以降中々3Pが当たらない。その中岐阜農林はバスランからリズムよくシュートを打ちリードする。12-6でリードするが、中部大第一も激しいディフェンスから速攻を出すことで逆転し、12-13で中部大第一リードにて1Q終了。

2Qに入り、中部大第一の1on1が目立ち出す。④⑤を起点に得点を重ねていく。岐阜農林は4分30秒に11点差になったところでタイムアウト。流れを変えにかかる。しかし、中部大第一の堅いディフェンスを崩しきれず逆にターンオーバーから速攻を許してしまい点差が広がる。中部大第一リードで前半終了。

3Q、出だし中部大第一はインサイドの⑧⑤の個人技等で2分で10-2のスコア。岐阜農林は、たまたまタイムアウト。⑪のドライブ、ジャンパーで粘るが、中部大第一の攻撃力がその上をいく。点差をさらに中部大第一が広げ3Q終了。

4Q、中部大第一は⑧を残し、他はメンバーチェンジ。しかし、ディフェンスは緩まず着実に点数を重ねていく。岐阜農林も諦めず5人の連動からズレを作りシュートを狙い続ける。中部大第一が層の厚さをみせ近付かせず試合終了。中部大第一がベスト4へ進出した。

主審 角平 和優

副審 山本 雄大

記入者 中島 英之